

身体障害者の日常生活動作をサポートする介助犬を育成する愛知県長久手市の社会福祉法人 日本介助犬協会の「介助犬総合訓練センター シンシアの丘」を視察しました。(2026年1月26日)



- 介助犬は、外部の刺激に過敏に反応しないなど性格が大切とのことで、誕生から訓練、使用者との引き合わせなど、丁寧なプロセスを経て養成されるとの説明でした。 <https://s-dog.jp/about-association/mission>



- シンシアの丘は、2009年に日本で最初に設置された介助犬訓練センターです。介助犬も一緒に笑顔で写真に収まりました。
- 高柳友子理事長（写真中央）は医師で、障害者が他人に気遣いせず自立するのに補助犬が有用だと訴え、2002年の障害者補助犬法成立に尽力された高名な方です。
- シンシアの丘では、通常の介助犬のほかに、手術前の患者のストレス軽減のための犬の介在、Dog Intervention (DI) なども実施しています。